

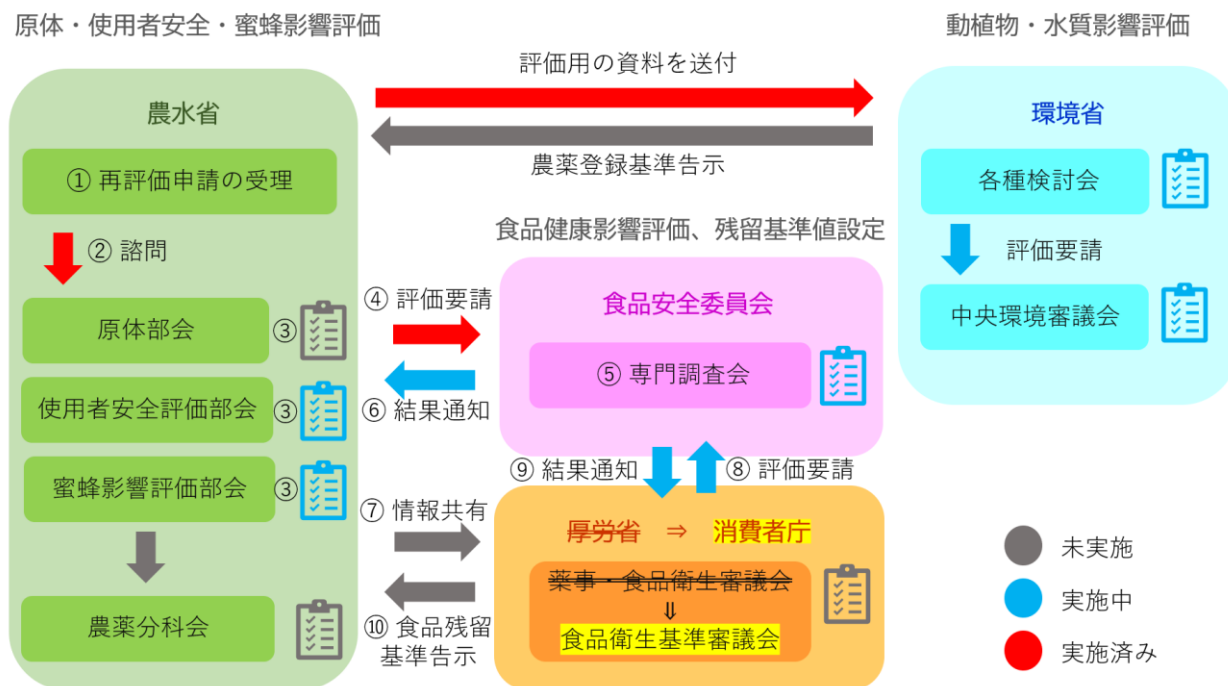
ネオニコチノイド系農薬の再評価進捗状況(更新あり)

【改定農薬取締法に基づく再評価】

2018 年に改定された「農薬取締法」に基づき、2021 年から農薬の再評価が行なわれています。これまでは製品単位で 3 年ごとに再登録を行っていたのを廃止し、原体（農薬に使用される物質）単位で 15 年ごとに見直すというものです。この評価結果に基づき、既登録剤についても原体規格を設定し、ADI（一日許容摂取量：ヒトが毎日生涯食べ続けても安全とされる量）、ARfD（急性参照用量：24 時間以内に摂取しても健康への影響がないとされる体重 1 kg 当たりの量）等の毒性指標、農薬の使用基準、残留基準値等の確認または再設定を行なうこととなります。

【評価を担当する府省】（2024. 4 に変更あり）

新規登録と同様に、食品安全委員会、厚生労働省、環境省、農林水産省の 4 府省での再評価が進行していましたが、厚生労働省の管轄であった[食品残留基準の設定業務が 2024 年 4 月に消費者庁に移管されました](#)。ネオニコチノイド系農薬では、アセタミプリド、イミダクロプリド、クロチアニジン、ジノテフラン、チアメトキサム（浸透性農薬フィプロニルも含む）についてメーカーによる農林水産省への資料提出が完了し、現在各府省で評価中となっています。以下、簡略化した模式図で現状を整理します。



2022 年 12 月：フィプロニル

2025 年 8 月 22 日（第 21 回）にイミダクロプリド、フィプロニルについて農薬使用者安全評価書案（非公開）が提出され、継続審議中です（③）。

【食品健康影響評価】 https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html

2025 年 7 月 16 日に [イミダクロプリド](#)、8 月 28 日に [フィプロニル](#) の評価書を決定し、ADI、ARfD を農水省（⑥）、消費者庁（⑨）宛てに通知しました。その他の原体は審議継続中です。

イミダクロプリド（2025/7/16 評価書第 4 版）	フィプロニル（2025/8/28 評価書第 3 版）
許容一日摂取量（ADI）：0.057 mg/kg 体重/日 急性参照用量（ARfD）：0.077 mg/kg 体重	許容一日摂取量（ADI）：0.00019 mg/kg 体重/日 急性参照用量（ARfD）：0.02 mg/kg 体重

【環境影響評価】

◆鳥類登録基準設定検討会： https://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/ecol_risk/post_48.html

以下のスケジュールで、中央環境審議会水環境・土壌農薬部会農薬小委員会に基準値案（非公開）が提出されています。

- イミダクロプリド：[2023 年 5 月 29 日](#)
- チアメトキサム、クロチアニジン：[2023 年 11 月 10 日](#)
- アセタミプリド：[2024 年 5 月 17 日](#)
- ジノテフラン：[2024 年 8 月 5 日](#)
- フィプロニル：[2025 年 5 月 27 日](#)

◆水域の生活環境動植物登録基準設定検討会：

https://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun_kentou/index.html

以下のスケジュールで、中央環境審議会水環境・土壌農薬部会農薬小委員会に基準値案（非公開）が提出されています。

- チアメトキサム、クロチアニジン、ジノテフラン：[2024 年 4 月 12 日](#)
- アセタミプリド：[2024 年 7 月 12 日](#)（公表文献検討も基準値案変更なし：[2025 年 4 月 22 日](#)）
- イミダクロプリド：[2024 年 10 月 9 日](#)
- フィプロニル：[2025 年 8 月 5 日](#)

◆中央環境審議会 水環境・土壌農薬部会農薬小委員会：

<https://www.env.go.jp/council/49wat-doj/yoshi49-04.html>

上記の検討会の報告に基づき、以下の基準値案が検討されています。

イミダクロプリド（2025/7/8 第 96 回～）	
水域の生活環境動植物	1.9 $\mu\text{g/L}$
鳥類（ 2025/9/14 右基準値案でパブコメ ）	7.4 mg/kg 体重
野生ハナバチ類（ 2025/9/14 右基準値案でパブコメ ）	成虫接触 0.0027 $\mu\text{g/bee}$ 成虫経口（単回） 0.0022 $\mu\text{g/bee}$ 成虫経口（反復） 0.00052 $\mu\text{g/bee/day}$ 幼虫経口 0.33 $\mu\text{g/bee}$

▼再評価の進捗状況はこちらのページで更新されます。

農林水産省「再評価の審査の実施状況」

<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/plan.html>

▼市民団体のデトックス・プロジェクト・ジャパンも再評価の進捗状況を報告しています。

木村-黒田 純子「農薬再評価の進捗状況」

<https://detoxprojectjapan.jimdofree.com/2025/09/01/%E8%BE%B2%E8%96%AC%E5%86%8D%E8%A9%95%E4%BE%A1%E3%81%A8%E3%81%AF/>

▼再評価制度そのものの問題点については、こちらの論考が参考になります。ぜひご参照ください。

環境脳神経科学情報センター「農薬取締法改正と農薬再評価の問題点」

https://environmental-neuroscience.info/free-papers/entry53.html?fbclid=IwAR3zhTfUMYDXV4tp2DDXnwn78ErI9z00ZocW-By4lwON0vRtiB0_tW7ReXc

(2025/9 アクト・ビヨンド・トラスト調べ)